

メンズブランド「スレッド」 京都で関西初の受注会

高感度な客層が来場

オーブン間近の宿泊施設で



日本の最高級テキスタイルを使用したシャツ、ジャケットを披露した（左が計良さん）

（東京）は、5月末に本格オープンを控える宿泊施設「マガザンキョウト」（京都）で、関西エリア初の受注会を開催した。共にクラウドファンディングで

資金を集めており、会期中には両者の支援者らが来場した。

スレッドは、エスモード・パリ校を卒業後、「ニコラ・アンドレア・タラリス」で経験を積んだ計良陽介さんが手掛ける。日本が誇る最高級のテキスタイルを世界へ一事業理念に、15年に設立。クラウドファンディングで200万円以上を調達

注会を開催した。今回も、山形県米沢市の鈴吉織物のシルクコットンジャケット（9万7200円）や愛知県津島市の児玉毛織のウールジャケット（7万7840円）、浜松市のテキスタイルベガの素材を使用したコットンシャツ（2万7000円）などを披露した。マガザンキョウトは、「宿泊できる雑誌であり、編集できるホテルでもある空間メディア」をコンセプトに、様々なパートナーと協業してシーズンごとに品揃えや体験型イベントを変化させていく宿泊施設。同プロジェクトに出資した高感度な客層を中心に来場した。

スレッド立ち上げ1年目の昨年は、活動範囲を「ブランドディングのため個展や百貨店での受注会に限定していた」が、今年からはカジュアルラインも立ち上げ、セレクトショップなどに卸販売をしていきたい考えだ。